

HQR022-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 10:30-13:00

越後平野沿岸地域に分布する海陸の地層対比 Correlation of the alluvium bed on and off shore area of the Echigo Plain

宮地 良典^{1*}, 卜部 厚志², 船引 彩子¹, 楮原 京子¹, 井上 卓彦¹, 天野 敦子¹, 岡村 行信¹

Yoshinori MIYACHI^{1*}, Atsushi Urabe², Ayako Funabiki¹, Kyoko Kagohara¹, Takahiko INOUE¹, Atsuko Amano¹, Yukinobu Okamura¹

¹ 産業技術総合研究所, ² 新潟大学 災害復興センター

¹ Geological Survey of Japan, AIST, ² Niigata Univ.

越後平野の沖積層を総合的にとらえるため, 1. ボーリング調査 (陸域・海域), 2. 反射法探査, 3. 微動アレー探査, 4. 海域の高分解能音波探査を実施した。海域及び陸域の沖積層を海進期堆積体と高海水準期堆積体に着目して対比し, 平野を横断する6本の断面図と沖積層基底面の等深線図を作成した。

平野北部と西部では, 沖積層は西に傾斜している。平野中央部では, 16,000年前から9,000年前まで信濃川や阿賀野川の供給する膨大な堆積物によって最終氷期に形成された埋没谷が埋積された。9,000年以降はバリアーラグーンシステムが発達した。

今回海域と陸域の沖積層の対比はできたが, その深度変換には課題が残った。

キーワード: 越後平野, 沖積層, 新潟, 第四紀, 角田・弥彦断層

Keywords: Echigo Plain, Chuseki so, Niigata, Quaternary, Kakuta- Yahiko Fault